

2023年度福岡県 U13/14/15 トレセン（男子）における
新型コロナウイルス感染症対策について

トレセン事業につきましては、選手は基本自主参加とする（保護者とチーム代表者の了承を得て参加すること）。トレセン参加者は、マスクの着用・手洗い・消毒等個人でできる感染症対策を十分行い参加すること。

1 トレセンを実施する場合

(1) 参加者

- 「参加条件」を満たす者のみ参加すること。【別紙1】
- 参加者全員が「健康チェックシート」を作成、提出すること。【ホームページ掲載】
- 当日は、参加会場にて検温を受けること。

(2) 会場

- 選手・指導者、運営スタッフ以外の立入りを禁止するエリア内で実施する。選手がけがをした場合等緊急の場合を除き、エリア内への保護者の立入りは認めない。
- 選手の送迎等で保護者が駐車場を利用する場合は、運営スタッフの指示に必ず従うこと。（駐車禁止区域に駐車しない、椅子等での場所取りをしない、蜜を避ける等）
- トレーニング以外はマスク着用(2023年4月以降は緩和予定)

(3) 検温・消毒

- 会場で実施する検温方法について、運営スタッフで情報を共有すること。
※検温時は必ず指導者がその場に帯同すること。検温結果は決して選手には伝えず、指導者と情報を共有すること。
- 会場においては、手指消毒液等を会場内に適宜設置すること。
- 複数の参加者が使用する用具等は、適宜消毒を行うこと。
- 選手の荷物の置き方（各選手2メートル間隔を開けて置く）雨天の場合は、各自の車の中におくなど密にならないように工夫する。

(4) その他

- 雨天の際は、時短終了や中止するなど検討をします。
- 選手・指導者、運営スタッフ以外の立入りを禁止するエリア内で実施するため、保護者等の健康チェックシートの提出は求めない。

2 中止する場合

今般の状況を踏まえ、大会を主管する福岡県サッカー協会技術委員会で協議の上、実施が難しいと判断した場合は、大会前日までに大会中止を決定し、関係者にその旨周知する。

【別紙 1】

2023 年度 福岡県トレセン U13/14/15（男子）における参加条件について

2023 年度に福岡県サッカー協会技術委員会が主管するトレセンについて、今般の状況を鑑み、選手・指導者及びチームの参加について、従来の大会参加条件に以下を加える。

1 下記の状態にある選手・指導者についてはトレセンへの参加を認めない。

(1) 新型コロナウイルス感染症に罹患している、あるいは感染者の接触者と特定されている者で、医師または保健所等から自宅待機（行動制限を含む）を要請されている場合。

【具体例】

- ① 家族が感染し、自身が接触者として自宅待機を要請されている⇒「不可」
- ② 家族が感染し、自身が接触者として自宅待機を要請されていたが、その期間が終了するとともに、制限が解除された。⇒「可」
- ③ 職場や学校等で感染が確認されたが、保健所の調査で自身が接触者に該当しなかった。⇒「可」
- ④ 【チーム指導者】職場で勤務者の感染が確認され、現在保健所が接触者を特定するために、出勤について制限等の要請をしている。⇒「不可」
- ⑤ 【選手】学校で感染が確認され、現在保健所が接触者を特定するために、学校全体を休業している場合。⇒「不可」
- ⑥ 【選手】学校で感染が確認され、現在保健所が接触者を特定するために、学級閉鎖、あるいは学年閉鎖を実施している場合。⇒「選手の当該学級・学年であれば不可」、「選手の当該学級・学年でなければ可」
- ⑦ 自身が体調不良のため PCR 検査を受検したが「陰性」であった。医師からは、特に行動の制限を要請されていない。⇒「可」

(2) 同居家族が接触者と特定され、現在 PCR 検査中である場合（PCR 検査を受け、現在結果待ちの状態）

○同居家族が「陽性」であった場合、選手・指導者本人が感染者の接触者と特定される可能性が高いため、大会参加を認めることができない。

2 下記の状態にあるチームに所属選手についてはトレセンへの参加を認めない。

チーム内における感染拡大を防止するために、保健所から活動自粛を要請されているチーム。

【その他】

- ① 健康チェックシートを確認の上、出場が難しいと判断された者（協議が必要な場合は協議の結果、参加が難しいと判断された者）は、トレセンへの参加を認めない。**（※トレセンへの参加の際には、健康チェックシート提出の義務を負う。）**
- ② 参加の可否の判断について不明な点がある場合は、登録地区の担当者に問い合わせること。各地区担当者は、技術委員長にその旨連絡して指示を受け、各地区においては、担当者を明確にし、登録チームに周知すること。